

公立大学法人横浜市立大学第3期中期計画（平成29～34年度）概要について

第1 策定にあたって ～これまでの振り返り～

17年度

公立大学法人 横浜市立大学 発足

17～28年度

第1期中期計画（17～22年度）

- ・国際総合科学部への3学部統合や共通教養教育の体制確立
- ・社会情勢の変化に対応した再編といった教育・研究体制の整備
- ・附属2病院の医業収入増加による健全な病院経営の確立
- ・財務分析、予算統制を始めとする経営管理の改善

第2期中期計画（23～28年度）

- ・国際総合科学部でのコース再編、医学部での教室再編の実施や教育体制の強化
- ・先端医科学分野等での研究の着実な進展及び外部研究費の獲得
- ・受入留学生を含む大学全体の国際化の推進
- ・政策的医療、高度先進医療、地域医療連携の推進への取組
- ・財務内容や人事制度の改善など法人経営の基盤強化に向けた取組

自主自立的な運営
(12年間)

主な成果

【大学：TIMES HIGHER EDUCATION「学生数5,000人未満の世界大学ランキング」
日本2位、世界16位】

共通教養教育、プラクティカル・イングリッシュの定着や学部横断プログラムなどを確立してきた。

- 学術院設置（人事管理、教育・研究活動の管理の一元化）、医学教育センター設置、生命医科学研究科設置、グローバル都市協力研究センター(GCI)設置など
- キャリア支援センター設置、ボランティア支援室設置、YCUスクエア竣工など
- 5教科7科目型による入試改革、医学部医学科での特別推薦入試の実施など
- 文部科学省「地(知)の拠点整備(大学COC)事業」への採択など
- 先端医科学研究センター新研究棟竣工など

【病院】

安全・安心でかつ、高度な医療を提供するとともに質の高い医療人の育成に努めてきた。

- 救急病床整備(附)、横浜市重症外傷センター設置(セ)
- 手術支援ロボット(ダヴィンチ)の導入(附)、TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)の実施(セ)など
- 看護キャリア開発支援センター設置、初期臨床研修医フルマッチの達成など
- 次世代臨床研究センター設置

第2 大学を取り巻く環境と横浜市立大学の現状・課題

《大学を取り巻く環境》

- グローバルやイノベーション人材等、幅広い教養や高い専門性、豊かな人間力を備えるとともに、社会の変化に対応するための基礎的な力を有し、将来に活路を見いだす原動力となる人材の育成が求められる。
- 地域の産業活性化や様々な研究を通じた諸問題の解決などの役割を大学は担っており、新たな知と価値を創造・発信し、能動的に社会をリードしていくことが求められる。
- 社会人の学び直しなど生涯学習の場としての機能の充実や、留学生の受入れの推進、大学院教育の充実なども含めて、一層多様で質の高い大学教育の機会の充実が求められる。
- 卒前・卒後を通じて高度医療を支える人材や新しい技術の開発等を担う人材の養成を推進するとともに、附属病院の機能を医療安全の確立に努めるとともに強化することが求められている。
- 医療の高度化に伴う医薬材料費の増大や、消費税増税等による厳しい経営状況の中、国が進める機能分化への対応など、さらなる経営の効率化が求められている。
- 国は、新たな専門医の養成においては、「総合診療専門医」を新たに位置づけて、19の基本専門医制度が開始される。

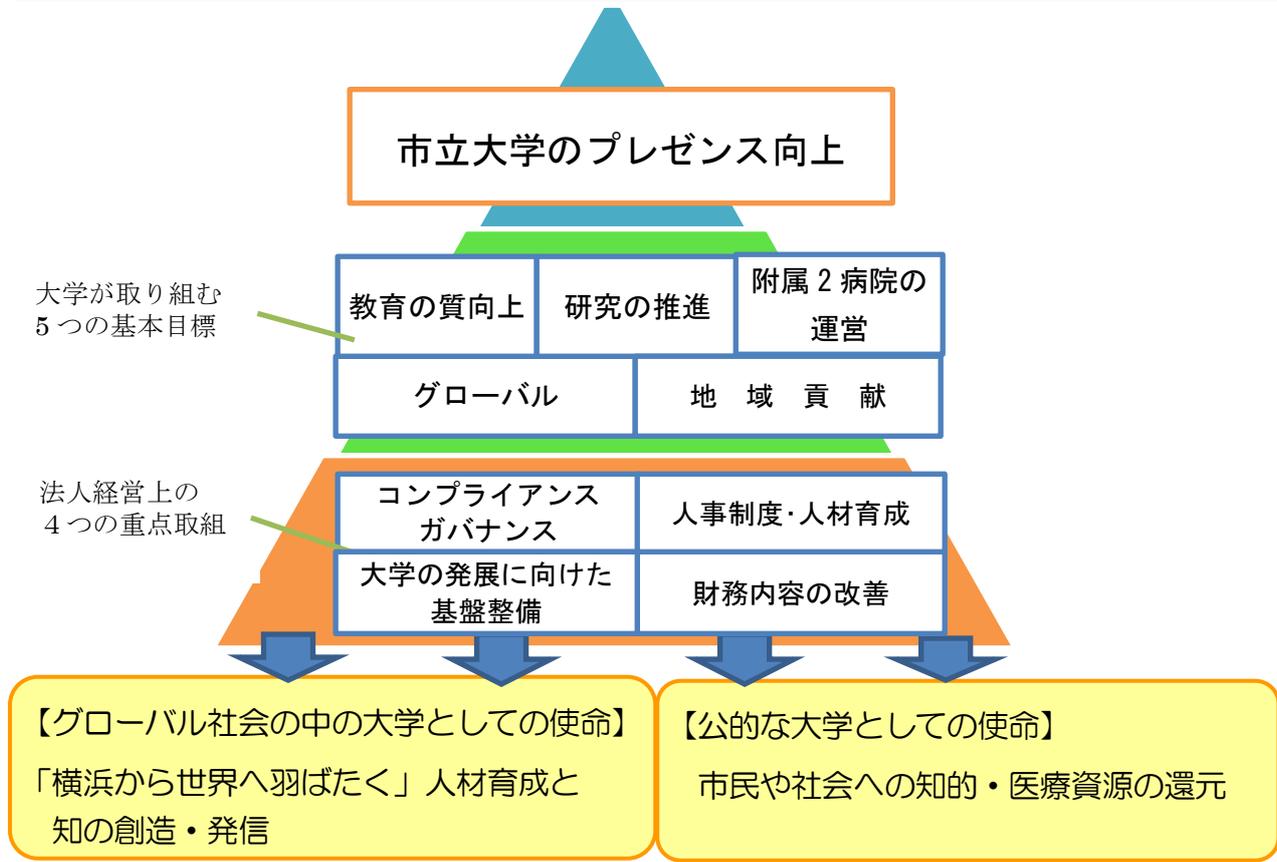
《横浜市立大学の現状・課題》

- 教育・研究面では、**全学的な英語教育の充実**を図るほか、先端医科学研究センターを中心に、新たな次世代育成臨床研究センターとともに**研究体制を充実**するとともに、URA 推進室の設置による**研究支援体制を強化**してきたが、今後さらなる充実が求められる。
- 医療面では、附属 2 病院のような高度急性期病院は、これまで以上に地域医療連携の取組を進め、**外来患者数、在院日数等の適正化により、急性期医療に特化**することが求められる。
- **附属 2 病院では、機器・設備の老朽化、施設の狭あい化等により医療機能の発揮に限界**がある。
- 経営面では、公立大学法人化以降初めて赤字決算となり、**経営改善**が求められる。
- 教職員による重大な服務規律違反が相次いだことで、**コンプライアンスの抜本的な取組の推進**が求められる。

第 3 第 3 期計画期間中に法人が目指すべき方向性

【YCU ミッション】
 公立大学法人横浜市立大学は、国際都市横浜と共に歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す

【基本理念】
 「知の育成と創造 ー横浜から世界へー」



第4 具体的な取組

【大学が取り組む5つの基本目標】

目標項目	主な取組
教育に関する目標	データサイエンス学部の設置と国際総合科学部の再編
	臨床解剖教育研修センターの設置に向けた検討・推進
	経済的支援、学修環境の整備、健康面のサポートなど学生支援の充実
研究に関する目標	先端医科学研究センターを中心とした戦略的研究の推進
	若手研究者の育成や女性研究者躍進のための支援
	がん研究の推進
地域貢献に関する目標	地域の課題解決につながる教育での取組み支援
	横浜市の政策課題の解決に向けて市のシンクタンク機能を果たす取組
	地域ニーズに合わせた市民向け教育の充実
	臨床法医学センターの設置に向けた検討・推進
国際化に関する目標	留学生の拡充と体制の整備
	学生海外派遣プログラムの充実
	横浜市の国際政策に連動した国際化推進事業の推進
附属2病院に関する目標	「最後の砦」としての救急・災害時医療等の政策的医療の提供
	新たな専門医制度等への取組
	地域医療連携の充実・強化
	臨床研究中核病院の認定に向けた取組
	安定した経営基盤の確立に向けた附属2病院の経営改善

【法人経営上の4つの重点取組】

目標項目	主な取組
ガバナンス機能強化・コンプライアンスの推進	課題認識から対策の検討・実施・改善に至るまでのPDCAサイクルの確立
	コンプライアンス推進委員会のあり方を見直すとともに監査機能の強化
人材育成・人事制度	大学や病院経営のプロフェッショナルな職員の育成
	従来のやり方にとらわれない働き方改革の推進
大学の発展に向けた基盤整備	施設の老朽化などに対応した施設保全の整備
	教育・研究・医療・業務活動の改善に向けたICT基盤整備
	附属2病院の老朽化、将来的な役割の明確化を踏まえた再整備構想の検討
財務内容の改善	外部資金の獲得や組織的な寄付活動の強化
	事務改善や効率的な施設運営を行い管理的な経費の削減

第5 経営力の強化

《自己収入の拡充に向けた取組》

- 学内外の多様な連携による研究活動と支援体制の充実や、臨床研究中核病院の指定による**治験の推進、企業との共同研究を促進し、外部資金を増加**させます。
- 企業関係者、卒業生など多様な人材ネットワークを活用して**寄附金を増加**させます。
- 紹介や逆紹介の推進など、**地域連携強化を推進することで、在院日数、外来患者数の適正化**を図るとともに、**新入院患者数を増加させ、収益拡充**を図ります。
- 手術待ち患者が多い中、**効率的な手術室の運用や手術室の増設を進め、手術件数を増加**させます。
- 本学の多様な資源を活用し、公立大学としての役割を考慮しつつ、受益者負担の公平性などの視点で本学が定めている**各種料金の見直し**を検討します。

《経費節減の推進に向けた取組》

- 委託保守業務においては、**既存契約の仕様、契約方法の見直し**により、コスト削減と業務の質向上に取り組みます。
- 医薬品や診療材料については、**ベンチマークシステムを活用して、徹底した価格抑制**に取り組むとともに、**使用量の適正化や附属2病院での共同購入を推進**することで、**コストの増加の抑制**に取り組みます。
- 業務改善プロジェクトや内部監査等を活用して、**業務内容の見直し・改善を進めるとともに、業務の変化に応じた人員配置の適正化**を図ります。
- 現行人事給与制度**の課題について検証し、より一層、**教職員の意欲・能力・実績を反映できる仕組み**を検討します。

《教職員の意識改革に向けた取組》

- 組織の枠を越えた**横断的で職員提案型の業務改善プロジェクトの支援**やペーパーレス会議の推進等、**従来の仕事のしかたを抜本的に見直し、教職員が一丸となって働きやすい職場づくり**を目指します。

《ガバナンス強化に向けた取組》

- 理事長、学長、病院長をはじめとしたトップのもと、**各種指標を活用した進捗管理、振り返り、改善等**を進めることで、法人経営のガバナンス強化を図ります。

具体的
な
数
値
目
標
を
設
定